

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|--------------------|------------|--|
| 事業所番号 | 1292700067 | | |
| 法人名 | 株式会社ヘルシーサービス | | |
| 事業所名 | グループホーム ガーデンコート天王台 | | |
| 所在地 | 千葉県我孫子市柴崎台3-9-19 | | |
| 自己評価作成日 | 平成27年3月10日 | 評価結果市町村受理日 | |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社アミュレット | | |
| 所在地 | 東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階 | | |
| 訪問調査日 | 平成27年3月12日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

全社共通にて掲げている社是「お客様、ご家族、地域の健やかな暮らしに貢献する」を職員全員が念頭に置き、行動できるように努めています。その上で事業所のスローガンである「あなたの心を感じられる私たちでしよう。そして、もうひとつの我が家を作ろう」の実現を目指し、お客様、ご家族、地域をも巻き込み役割が生きがいにつながるよう支援しています。身体拘束・虐待のない、安全・安心な生活が営めるよう個々のお客様の尊厳を支えるケアの確立にも努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所独自のスローガンとして「あなたの心を感じられる私たちでしよう。そして、みんなのもうひとつの我が家を作ろう」を掲げ職員間で共有し取り組んでいる。今年度は事業所に来てよかったと言ってもらえるように、行事を多く取り入れたり、ボランティアとして、傾聴(月1回)、フラダンス(月1回)、書道&将棋(月2回)を受け入れ、生活の活性化に取り組んでいる。さらに小学校のドント焼き、運動会や地域のお祭り、一斉清掃・防犯パトロールに参加する等、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるように支援している。今後も民生委員や学校関係者との関係作りに努め、より地域との交流を深めていく事を目指している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|---|---|--|---|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|--|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 「あなたの心を感じられる私たちがでいよう。そしてもう一つの我が家を作ろう」のスローガンを職員が共通理解のもと、実現を目指している。 | 「お客様・ご家族・地域の健やかな暮らしに貢献する」という法人社是のほか、事業所独自のスローガンとして「あなたの心を感じられる私たちがでいよう。そして、みんなのもう一つの我が家を作ろう」を掲げ職員間で共有している。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 日常的に散歩を取り入れ、近隣の住民と挨拶を交わしたり、近隣の商店での買い物同行など。地域の小学校の行事に参加。自治会行事・一斉清掃・防犯パトロール等に参加、協力している。 | 散歩の際に近隣住民と挨拶を交わし交流を深めるほか、小学校のドント焼き、運動会や地域のお祭りに利用者と一緒に参加し交流を深めている。また、地域の一斉清掃・防犯パトロールへの参加もあり、地域とつながりながら暮らし続けられるように支援している。 | 今後は近隣センター、民生委員、学校関係者、保育園などと連携していく予定もあり、連携が図れる事で地域との交流がより深まっていく事に期待したい。 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 今年度は地域の小学校に行き、「認知症の知識」について、講義と疑似体験を行った。(6年生対象 キャリア推進) | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 個別のケア事例を議題にし、必要に応じたご家族の支援について依頼を實踐いただいた。認知症を支えるご家族からの相談内容について出席者全体で検討し、助言を行った。地域の情報交換をしている。 | 運営推進会議は市の担当者、地域包括支援センター、提携医療機関、福祉用具管理者、利用者家族の参加を受け、2カ月に一度定期的に開催している。会議では、活動状況、行事報告、質疑応答等を通じ参加者との意見交換を行っている。 | 運営推進会議の議事録の作成及び会議の地域住民の代表の方の参加があると良いと考える。 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者とは、運営にあたっての疑問や相談ごとがあれば連絡を取り指導を仰いでいる。また、介護予防教室(毎週水曜日)の実施を通して市と連携を深めている | 今年度は「介護予防教室」(週に1回開催)を市より引継ぎ主催している。個別のケアについて報告相談を行っている。 | 市担当者とは、運営にあたっての疑問や相談ごとがあれば連絡を取り指導を仰いでいる。また、介護予防教室(毎週水曜日)の実施を通して市と連携を深めている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 3月「身体拘束・虐待について」の社内研修を実施予定。玄関は現在は施錠しているが、まずは時間を決めて開場できるように取り組みたい。就寝時のベッドサイドレールは1箇所外して使用いただいている。 | 年に1度「身体拘束・虐待について」の内部研修を実施して職員に周知し、身体拘束廃止についての意識を高めている。玄関は安全を期してオートロック式を採用しているが、身体拘束の事例は発生していない。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 3月「身体拘束・虐待について」の社内研修を実施予定。玄関は現在は施錠しているが、まずは時間を決めて開場できるように取り組みたい。 | | |

グループホームガーデンコート天王台

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 管理者、サブ主任は管理者研修において「成年後見制度と日常生活自立支援事業」について講習を受け、理解した上で職員の指導・教育を行っている。今後外部講師による研修を予定。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約や改定の際は丁寧に説明を行い、特にわかりづらい文言について注釈して理解・納得をいただいた上で先に進むように配慮している。解約の際にも必要な情報提供を各機関に送ったりケアが滞りなく提供されるように協力するよう努めている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご家族には運営推進会議開催の案内を送付し、意見・要望を聞く機会を設けている。又来所時にこちらからも声をかけて話しやすい環境を作るようにしている。いただいた意見は連絡ノートや毎日の申し送りにて職員が共通理解のもと実施されている。 | 家族からの意見、要望については、来訪時（運営推進会議への出席、イベントの開催及び面会時）、電話連絡時、ケアプラン説明時に意見、要望を聞く機会を設けそれらを運営に反映させている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 拠点会議・ユニット会議を実施し、意見交換の場を設けている。毎日朝・夕の申し送りを実施している。個別面談は定期的のもの以外にも実施し多数意見に偏らないように努めている。議事録作成し欠席者への通達を行っている。 | 職員の意見や提案は、個人面談の実施や必要に応じて面接して収集している。働きやすい職場環境づくりに取り組み、日常的にも管理者やケアマネージャーを中心に職員に声をかけるようにしている。それらの意見を拠点会議、ユニット会議で吟味して運営に反映している。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員が個々の持てる能力を発揮でき、目標を持って長く働けるよう個人面談は適時行って相談できる機会を設けている。不安や悩み事は早期に解決できるよう取り組んでいる。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 導線の見直しや、ユニット会議進行、OJTの実践を行っている。今年度は相互実習を実施した。 CM研修、主任研修、新人オリエンテーションへの同行を実施。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 市内の「地域密着型事業所分科会」への参加。連絡協議会総会への参加等で情報交換をしている。今後は毎回参加し、協働作業を通じてネットワークの拡大を図りたい。 | | |

グループホームガーデンコート天王台

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 初回アセスメントの際にお客様の心身の状況の把握に努め、住み替えによる不安や変化等に柔軟に対応できるようにサービス提供している。お客様が要望を言いやすい関係作りの構築に力を入れている。介護相談員や傾聴ボランティアを活用。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | お客様とそのご家族が一番に望んでいる事が叶うように話し合いの場を設けている。また、こまめに状況報告をし、情報共有に努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 認知症に特化した施設である事を十分に説明している。方向性が違う場合は適した機関への紹介や情報提供を行っている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | スローガンにもあるようにお互いが支えあい協働生活ができるよう支援している。家事以外にも役割を持っていただき意欲向上につながるよう自立支援に努めている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 職員とお客様が過ごす場を見ていただくことや、状況報告をする事で違う一面を発見していただけるよう努めている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | お客様のこだわりを大切にしている。久しぶりに来所される知り合いの方へは事前に情報提供を行い、留意事項を知らせ混乱や、事故を未然に防ぐよう努めている。 | これまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないように、馴染みの鍼灸院や知り合いのひとと会話を楽しんだり、家族の確認や協力を得て馴染みの場所へ出かける、自宅へ帰るなど関係性の継続に努めている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 個々のお客様の心身の状況により、関係も変化する為必要時職員が介入している。お客様一人一人の時間を大切にしつつ、孤立しないように工夫している。歌や体操は全員が参加できるレクであり、毎日実施している。共同でできる企画を開催している。(ガーデニングや、自炊等) | | |

グループホームガーデンコート天王台

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | お客様、ご家族に了承してもらえる範囲内で連絡等はさせていただいている。中には、利用終了後も来所して下さるご家族もいます。気軽に相談していただける関係の構築に努めます。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | お客様のこだわりは＝生活意欲の向上につながる為、重要視している。チームで検討し、場合により一時的に違うことに目を向けてもらうよう働きかけを行うこともある。 | 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握は、日常会話での収集のほか、ケアプラン作成時のアセスメント時に確認している。把握が困難な場合は、家族の協力を得ながら本人本位に検討し、日々の支援に活かしている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | お客様本人、ご家族からの聞き取り以外にも関わる全ての知り合いの把握に努めている。関係機関との情報の共有を行っている。住み替えても不安なく生活が営めるよう努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | お客様の状況把握に欠かせないのは、周囲の環境がどうであるか、でありそれらを踏まえて有する能力や心身の状態の把握、生活リズムの把握に努めている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人、ご家族、他職種からの意見も取り入れたプランの作成をしている。 | アセスメントにおいて利用者の現状や課題を収集し、担当者会議において職員、看護師から医師の意見を収集しケアプランを作成している。ケアプランは家族に説明し同意を得ているほか、毎月のモニタリングにおいて利用者の満足度、プランの達成状況を確認している。 | 今後に向けては、ケアプラン作成にあたり看護師や担当医の意見も踏まえ等、他職種連携でケアプランが作成できると良いであろう。 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 介護保険更新時の見直し以外にも、状況変化に応じて見直しを行っている。会議、申し送り等にて職員間で情報共有、実践につなげている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | お客様、ご家族のできること、できないことを明確化し、お客様、ご家族と今、何ができるかを検討しサービスにつなげられるよう努めている。 | | |

グループホームガーデンコート天王台

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 一人でも多くの顔なじみが増やせるよう支援している。自治会や近隣の小学校などとの交流。地域への貢献。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | お客様、ご家族の希望を最優先としている。納得が得られたかかりつけ医に適切な医療を受けられるよう支援している。 | 利用者が適切な医療を受けられるように提携先医療機関による月2回の往診のほか、担当医とは24時間連絡体制を築き、緊急時や状態変化時において迅速な対応が図れる体制を整えている。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 薬や、バイタル、体重、日頃の心身の状態を報告し、医療機関との連絡・調整、衛生の管理を行ってもらっている。急な受診時の付き添いの対応をしてもらっている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 病院の地域連携室や、MSWへの挨拶を行っている。又、入院の際にも連絡をとり合い情報共有に努めている。退院前のカンファレンス開催をお願いしている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | ご家族、医療と常に連携をとりながら状態にあわせた援助計画を作成し、医療情報や援助内容を職員、ご家族と共有しあい支援している。早い段階から重度化した場合や終末期のあり方についてまずはご家族で話し合いの場を持っていただくことをお願いしている。 | 重度化や終末期に向けた方針については早い段階から事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、重度化や終末期をむかえた際には、家族や主治医と連携を深め今後の支援方針を検討することとしている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 当社の「緊急時マニュアル」を活用した研修を行っている。定期的に「AED講習」を受け、実習を実施している。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 今年度2回、避難訓練を実施している。地域に告知したが参加者がいなかったため、今後も継続して協力体制を得られるよう活動していきたい。 | 消防署と連携し消火訓練、通報訓練、避難訓練を実施している。災害に備え、缶詰、味噌汁、カセットコンロ、を常備している。また、お風呂の水を溜めて、水張りを常時行い災害時に備えている。 | 法人内の近隣施設に合同で備蓄庫の設置を検討しているとのこともあり今後の取り組みに期待したい。また災害後の緊急連絡方法の確立(災害伝言ダイヤルの採用など)にも期待したい。 |

グループホームガーデンコート天王台

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 職業倫理については常に職員全員が取り組むよう指導している。お客様個々の人格の尊重、礼儀とマナーの大切さを共通理解し実践している。 | 利用者に対して適切な対応が図れるように、会議や申し送りを通じて職員の意識を高めている。日々の支援では、利用者一人ひとりの特性に応じたコミュニケーションを図り、不適切な対応につながらないように努めている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | お客様が遠慮なく、思いや希望を伝えられる環境作り、信頼関係の構築に努めている。言語で伝える事が困難なお客様においては職員の気づきや誘導により出来る限り希望に添えるよう対応している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 日常に楽しみが持てるようお客様個々の希望に添って支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 訪問理容を利用して散髪や顔そりを希望日に実施している。可能であれば洋服はお客様に選んでもらっている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 年に数回お客様の希望を取り入れた自炊を実施している。できる部分は協働作業している。又食器洗い、おしぼりたたみ、トレー拭き、テーブル拭き等も分担し職員の見守りのもと日常的に行われている。 | 食事の準備では、テーブル拭きや、後片付け等利用者の状態を考慮しながら、職員と一緒に食事の準備や片付けを進めている。食事を楽しむ工夫では、外食に出かけたり、行事食やおやつを皆で一緒に作り、食事の楽しみにつなげている。 | 現状、食材の買い物は職員が中心となり進めているが、今後に向けては利用者も買い物から関わる事ができるような取り組みも期待したい。 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 摂水量は夏場は1500CC、冬場1200CCを目標として管理している。摂食量は1日全体で個別に管理している。体重管理と併せ医療機関と連携をとっている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 提携歯科と連携しお客様の今の状態に合った口腔ケアを実践している。 | | |

グループホームガーデンコート天王台

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄の間隔をつかみ、トイレでの排泄ができるよう支援している。記録を活用し誘導の時間を変える等個々の排泄のパターンの把握に努めている。 | 利用者の排泄パターンを排泄チェック表や個人日誌に記録し、職員間で共有している。排泄の支援では、定時の声かけや誘導により、トイレで排泄できるよう支援している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 薬にできるだけ頼らず水分を多く摂っていたことや食事内容の工夫を実施している。また適度な運動と適度な睡眠がとれ生活リズムが安定するよう支援している。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 健康管理面から概ねの日程は決めていますがお客様の希望を最優先としている。 | 入浴は、一人ひとりの体調やタイミングに合わせて、週2回のペースで入浴できるように支援している。入浴中は職員が介助につき、転倒等事故につながらない様に、安全面に十分配慮している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | お客様の生活習慣を最優先している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の管理は管理者と看護師で行い、個々のお客様の使用している薬の目的・副作用・用法と禁忌事項を職員全員が理解している。また、服薬支援と症状の変化の報告を徹底し必要時医療機関への報告を実施している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | お客様の生活歴や残存能力を活かした役割を持てるよう支援している。また趣味の継続が可能となるようボランティアを依頼したり外出の機会を作るよう努めている。個々の得意な事を引き出せるよう支援している。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 日常的な散歩の他、お客様の希望に添い外出支援している。季節感を感じていただけるよう、ドライブも実施している。 | 日常的な外出としては、ホーム周辺の散歩や近隣のお店に買い物に出かけている。そのほか社用車を利用したドライブや外食、初詣、紅葉散策など利用者の希望も踏まえながら、戸外に出かけられるよう支援している。 | |

グループホームガーデンコート天王台

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | お客様お預かり金は管理者が出納帳にて管理している。お客様が希望した際職員と買い物に出かけることが可能である。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | お客様の希望に応じて電話をしたり手紙のやりとりができるよう都度対応している。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有スペースでは季節を感じていただける飾りつけをお客様と作成する等している。ソファを配置し自由に空間で過ごせるよう配慮している。 | 共用の空間は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせ装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるよう工夫している。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ソファの位置はフロアのテーブルからは離れた場所に置き、一人の時間を過ごすことができる。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室は個人の使い慣れた備品を持ち込んでいただいている。思い思いのお部屋にてくつろげるようご家族の協力をいただいている。 | 居室は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものを活かして、ご利用者が居心地よく過ごせるように職員が整理整頓に努めるなど支援をしている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 個々の生活歴を活かしてできる能力の維持、できそうな能力を引き出せるよう支援している。すぐに問題行動として捉えず、行動の先に意図していることの追求と要因を職員全員で振り返りサービスにつなげるよう努めている。 | | |